

地質時代の区分(資料集 p.37)

新生代	第四紀	完新世(沖積世)	～1 万年前 ※縄文時代	③
		更新世(洪積世)	～2 万 6,000 年前	
	第三紀	新第三紀	～2,300 万年前	
		古第三紀	～6,600 万年前	
中生代	白亜紀		～1 億 4,500 万年前	③
	ジュラ紀		～2 億年前	
	三疊紀		～2 億 5,100 万年前	
古生代	二疊紀		～2 億 9,900 万年前	②
	石炭紀		～3 億 5,900 万年前	
	デボン紀		～4 億 1,600 万年前	
	シルル紀		～4 億 4,400 万年前	
	オルドビス紀		～4 億 8,800 万年前	
	カンブリア紀		～5 億 4,200 万年前	
先カン ブリア 時代	原生代		～25 億年前	①
	始生代		～40 億年前	
	冥王代		～46 億年前	

地球ができてから 46 億年。

地球の年齢を 46 歳とすると、完新世（縄文時代）が始まったのは今から 50 分前くらい。ホモ・サピエンス（現在のヒト）が出現したのは 18 時間前くらい。

大地形

- ・ ①] : 地球上で最も古い陸地。先カンブリア時代の地殻変動で形成され、その後は造山運動がなく造陸運動のみを受けてきた。地震や火山活動はほとんどなく、古生代以降の侵食により大平原を形成。卓状地と楯状地に分かれる。
- ・ ②] : 古生代の造山運動で形成されたのち、長期間の侵食を受けなだらかになった山脈。
- ・ ③] : 新生代以降（＝現在も）造山運動を継続している山脈（とその周辺）。そのため起伏に富み、地震が多く、火山活動も活発。
- ・ ④] を多く産出する。
- ・ ⑤ 石炭] を多く産出する。
- ・ ⑥ 造山帯 と ⑦ 造山帯 の 2 つのみ。
- ・ ⑦] などの非鉄金属、⑧] を多く算出する。

日本は安定陸塊上にないので、鉄鉱石を産出しない。そのため砂鉄を利用したたたら製鉄により鉄を得ていた。

←「〇〇山脈」という地形名に触れたら、古期造山帯なのか新期造山帯なのかを判断できるようにしておくとい。

新期造山帯では起伏に富むため、交通の障害となる分水嶺が文化圏の境界になりやすい。

石炭： _____ 由来の化石燃料。
石油： _____ 由来の化石燃料
(とされている)。

漢字の練習コーナー

・ 安定陸塊

[①] 上の大平野

- ・**[⑨]** : 最も古い地層の上に、古生代・中生代の地層がテーブル状に堆積したもの。

※卓状地上の地形

- [⑩]** : 水平または緩傾斜に堆積した地層を持つ、卓状地の表面が侵食されて形成された平野。

※構造平野上の地形

- [⑫]** : 緩やかな傾斜の硬軟の地層が交互に堆積している場合、不均一に侵食され傾斜が非対称となる。

[⑭]、**[⑮ ロンドン盆地]**、**[⑯ ナイアガラの滝]**など。

- [⑬]** : 堅い水平な岩盤が侵食されずに残り、比較的広く周囲より一段高くなったものをメサ、さらに小さくなったものをビュートとよぶ。

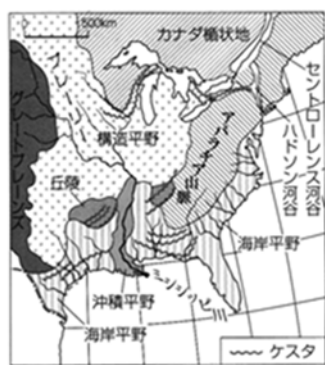
- ・**[⑩]** : 最も古い地層が露出した平坦地。プレート境界から遠く離れる。

※楕状地上の地形

- [⑰]** : 侵食され平坦化した地形。**[⑱]** の最終形態。

※準平原上の地形

- [⑲] ()** : 硬い地層の部分が侵食を受けず残り、一段高く突出した丘陵状の地形。
ex. エアーズロック(「ウルル」)



▲五大湖辺と南部のケスタ地形



▲ロンドン盆地のケスタの急崖 ケスタの谷の低地に工業都市や学園都市がある。



▲ケスタの分布 ①オースの森②シャンパーニュ高地③アルゴヌの森④ミューズ高地⑤モーゼルの高地 A ランス B シャロン C ペルダン(要塞) D メス E ナンシー(戦争時はドイツは不利な地形) F トロア(対称的にロンドン西方に数列のケスタ)

※ケスタ

[⑭] では、急崖で果樹園(ブドウ栽培→ワイン)の経営、緩斜面で小麦栽培が行われる。

※メサ・ビュート

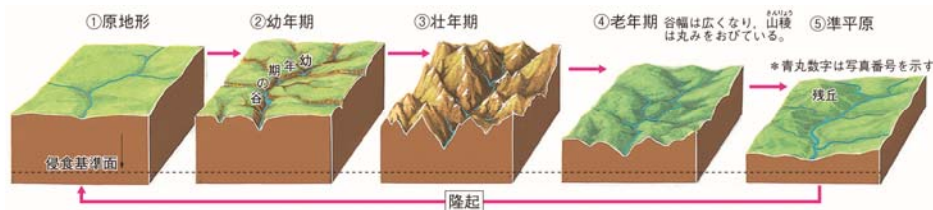
モニュメントバレー(アメリカ)と浦高の比較(くらべ地図)

<http://kurabe-chizu.info/9ue5>



←E ナンシー付近のケスタ地形がドイツ軍に不利に働いたのはなぜか。

[⑱] (教科書 p.35③)



②幼年期地形の例: コロラド高原 (**[⑳]**)

③壮年期地形の例: アルプス山脈、ヒマラヤ山脈、日本アルプス

④老年期地形の例: 北上山地、阿武隈高地

※「侵食基準面」≡ **[㉒] 海面**

※⑤準平原が隆起するか、海面が下降すると再び侵食が始まる(輪廻)。

／「海水面の下降」は、どんな局面で起こるだろうか。